

委員会活動計画書

委員長名 鈴木 良美

【委員会名】 健康危機管理対策委員会	
【メンバー】 ◎鈴木 良美(東京医科大学)、○石田 千絵(日本赤十字看護大学)、山下留理子(徳島大学)、 井口 理(日本赤十字看護大学)、嶋津多恵子(国際医療福祉大学大学院)、 當山 裕子(琉球大学)、佐藤 太地(日本赤十字看護大学)、 堀池諒(大阪医科薬科大学)、¥山口 拓允(東京医科大学) *奥田 博子(国立保健医療科学院)、*河西 あかね(全国保健師長会) *佐々木 亮平(岩手医科大学)、*永野 智子(熊本県看護協会) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 感染症の健康危機管理に対する保健師教育の現状と課題に関する調査の分析結果を公表し、教育の強化に役立てる。 2. 上記の調査を踏まえて、健康危機管理教育向上のための視聴覚教材(感染症パンデミック・災害)を作成し、会員校へ配布する。 3. 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。	
2024(令和6)年度	
達成目標	1. 感染症の健康危機管理に対する保健師教育の現状と課題に関する調査の分析結果を公表し、教育の強化に役立てることができる。 2. 上記の調査を踏まえて、健康危機管理教育向上のための視聴覚教材(感染症パンデミック・災害)を作成し、会員校へ配布することができる。 3. 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。
活動計画	1. 感染症の健康危機管理に対する保健師教育の現状と課題に関する調査の分析結果を公表し健康危機管理教育の向上に向けた提言を行う。 2. 上記の調査を踏まえて、健康危機管理教育向上のための視聴覚教材(感染症パンデミック・災害)を作成する。感染症に関しては、シミュレーション教育を主体に、個人、集団、地域へのアプローチに関する演習用教材を作成し、プレテスト、評価を経て完成させる。災害に関しては、①東日本大震災における災害サイクルごとの保健師活動の実際、②阪神淡路大震災から熊本地 3. 震までの支援/受援に関わる保健師活動の実際、③その他、多様な災害におけるケアシステムの活用、福祉避難所、避難行動要支援者名簿の活用、個別避難計画、ICTの活用等をまとめた動画の合計3本を作成する。それぞれ自習やグループワークに活用できるように、使用案のガイドもつける。感染症、自然災害ともに2024年度中に完成させ、会員校へ配布する。 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。